徳島新聞　平成30年8月14日(火)

## 子どものアレルギー性鼻炎

# 舌下免疫療法が効果的

## 原因物質に体を慣らす

### 治療長期間も安全性高く

アレルギー性鼻炎で悩む子どもが増えている中、注目されているのが舌下免疫療法。今年から保険診療の対象年齢が引き下げられた。長期間の通院は必要だが、アレルギーの原因物質に徐々に体を慣らすことで、根治も期待できるという。

徳島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科の北村嘉章講師によると、鼻づまりなどが主症状のアレルギー性鼻炎は、アレルゲンによって引き起こされる。ダニの死骸が原因となる通年性のアレルギー性鼻炎と、スギ花粉などによる季節性の花粉症に大きく分かれる。

西日本小児アレルギー研究会によると、西日本の小学生約3万5千人を対象にした調査で、アレルギー性鼻炎の発症率は2002年の20・5%から12年には28・1%に増加している。子どもは大人に比べると、ダニによる通年性のアレルギー性鼻炎の割合が高く、北村講師は「自然に良くなることは少ない」と言う。

舌下免疫療法は、舌の下から錠剤のアレルゲンを少しずつ体内に取り入れ、体を慣らしてアレルギー症状が起こりにくい体質にする。これまで12歳以上が保険診療の対象だったが、ダニによる通年性のアレルギー性鼻炎は今年2月から、スギ花粉症は6月から原則として5歳以上に引き下げられた。

副作用として口内の腫れ、かゆみなどを起こすケースがある。しかし、従来の皮下免疫療法（注射）と比べ、アナフィラキシーショック（急性アレルギー反応）の可能性は100分の1程度とされており、「安全性が高い」と北村講師。

こうしたことから、徳島大学病院では薬物療法から舌下免疫療法に軸足を移している。徳島県内で舌下免疫療法を行っている医療機関は約40カ所で、舌下免疫療法を行っていない医院などから患者の紹介を受け付けている。

また、最初に徳島大学病院で1カ月ほど舌下免疫療法を行って安全性を確認した後、かかりつけ医で継続してもらうなどしている。

ただ、治療は3年から5年の長期にわたるのがネックで、月に1回程度の通院が必要となる。患者の錠剤1年分（3割負担）の自己負担額はダニによるアレルギー性鼻炎が約2万円、スギ花粉は約1万4千円。徳島市の場合、医療費助成制度を利用すれば、6歳から15歳までなら毎月の自己負担額は1医療機関につき600円ですむ。

北村講師は「舌下免疫療法はぜんそくの発症や、新規のアレルゲンに反応しやすくなる『感作』も抑えることができるとのデータもあり、特に子どもに薦めたい」と話している。

（岩村純志）

北村嘉章講師

**舌下免疫療法のポイント**

| | |
|---|---|
| 対象 | ダニによる通年性のアレルギー性鼻炎<br>スギ花粉症 |
| 治療期間 | 3～5年 |
| 通院 | 月に1回程度 |
| 副作用 | アナフィラキシーショック |
| 利点 | ぜんそく予防<br>新規アレルゲンへの感作抑制 |
| 県内の実施病院 | 約40カ所 |